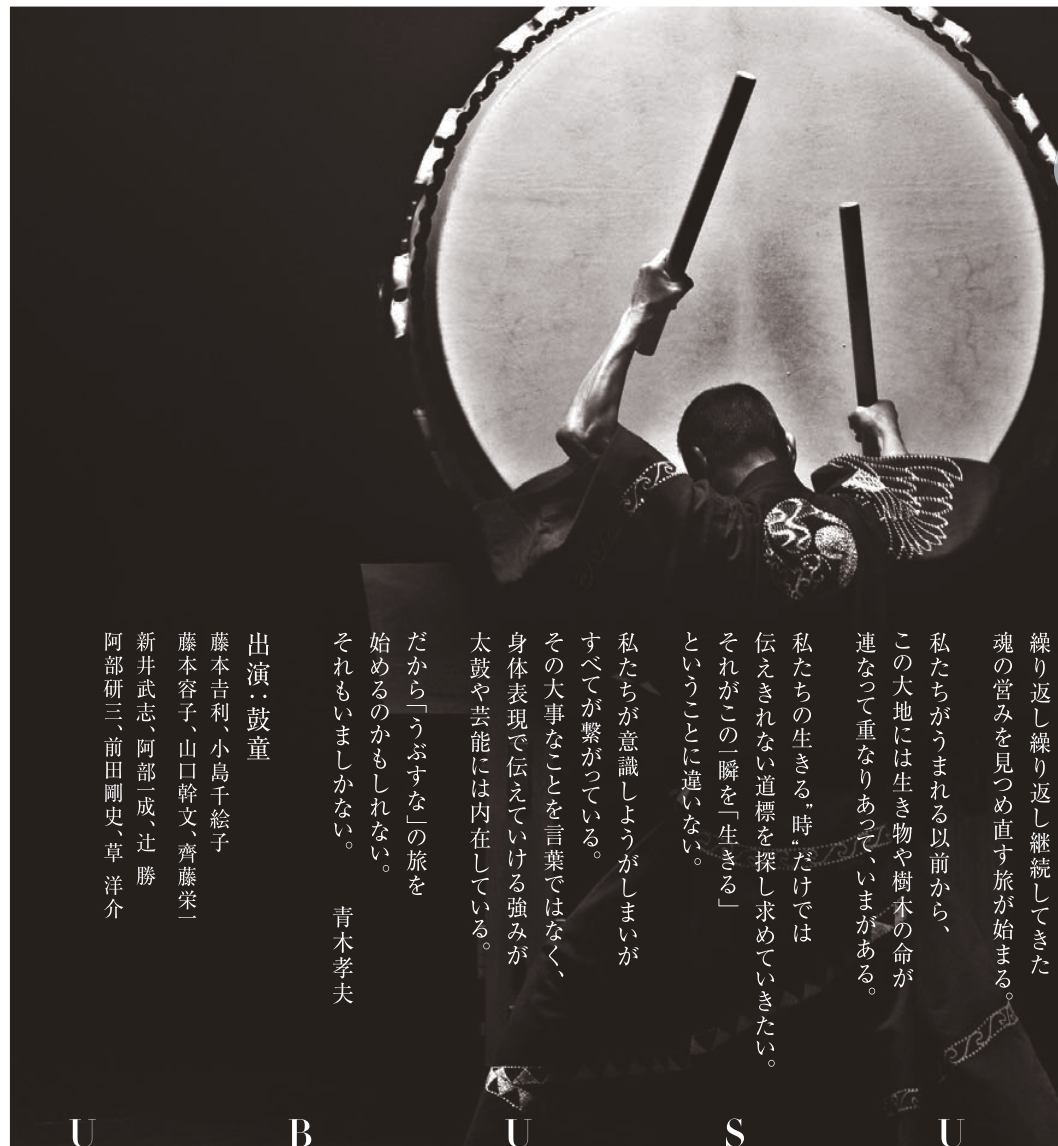


鼓童
うたな



KODŌ

鼓童「うぶすな」



繰り返し繰り返し継続してきた魂の営みを見つめ直す旅が始まる。

私たちが生まれる以前から、この大地には生き物や樹木の命が連なつて重なりあつて、いまがある。

私たちの生きる「時」だけでは伝えきれない道標を探し求めていきたい。それがこの一瞬を「生きる」ということに連いない。

私たちが意識しようがしまいがすべてが繋がっている。その大事なことを言葉ではなく、身体表現で伝えていける強みが太鼓や芸能には内在している。

だから「うぶすな」の旅を始めるのかもしれない。それもいまいかな。青木孝夫

出演：鼓童

- 藤本吉利、小島千絵子
- 藤本容子、山口幹文、齊藤栄一
- 新井武志、阿部一成、辻勝
- 阿部研三、前田剛史、草洋介

U B U S U N A



山口 幹文

やまぐち もとふみ
1980年入座、笛を独学にて習得。以来、笛・胡弓・箏・三味線などを務める。鼓童の舞台演出や作曲、若手指導を行う。「一管風月」というタイトルでソロコンサートも行なっている。

小島 千絵子

こじま ちえこ
1976年入座、民俗舞踊の世界に出会い、太鼓中心の舞台の中で、独自の舞踊の世界をきりひらいてきた。「花結」やソロパフォーマンス「ゆきあひ」など、意欲的に表現の場を拡げている。

藤本 吉利

ふじもと よしかず
1972年入座、以来、太鼓奏者として、大太鼓や屋台囃子といった舞台のクライマックスを飾る。鼓童の最年長者。「鼓童」の名前の由来同様、永遠に太鼓の「童」でありたいと願う太鼓大好き人間。

藤本 容子

ふじもと ようこ
1976年入座。唄・箏・踊りで舞台をつとめる。日本古謡、民謡、わらべ唄などから触発された自作の曲を歌う。「こえ・からだ・こころ」その響き合いの共感を深めるワークショップ「ヴォイス・サークル」を主宰。

齊藤 栄一

さいとう えいち
1982年入座。太鼓奏者としての技術と経験の豊富さから、国内外数多くの舞台に立つ。「熱き思ひ」をモットーに、太鼓の合宿ワークショップ「鼓童塾」など、国内外各地で開催される太鼓ワークショップも展開している。

鼓童「うぶすな」公演スケジュール

- 9月 9日(水)【大阪府 大阪市】国立文楽劇場 (問)ページ・ワン 06-6362-8122
- 9月11日(金)【福井県 敦賀市】敦賀市民文化センター (問)敦賀市文芸協会 0770-20-1311
- 9月13日(日)【京都府 綾部市】京都府中丹文化会館 (問)中丹文化会館 0773-42-7705

スタッフ
演出：青木孝夫 音楽監督：山口幹文 舞台監督：風間正文 照明デザイン：能田勝博
音響：洲崎拓郎、小池俊幸 衣装デザイン：時広真吾 ヘアメイクデザイン：佐藤圭
刺し子制作：大井キヨ子 面制作：ジョニ・ウェルス

写真：秦 淳司 アートディレクション：関田森彦、三村智彦(PARK, Sutherland)
CGディレクション：IINO GRAPHIC IMAGES ロケーションサービス：Marffy
企画制作：(株)北前船/鼓童 協賛：(株)浅野太鼓楽器店

鼓童 KODO

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見だし、現代への再創造を試みる集団。打ち手によってたたき出される響きは、聴く者の身体に強く働きかける。1971年～1981年「佐渡の國 鬼太鼓座」として活動。1981年、「鼓童」結成、ベルリン芸術祭でデビュー。新潟県佐渡島を活動拠点に、ワン・アース(一つの地球)をテーマに掲げ、世界46ヶ国で3,200回を超える公演を行う。一年の1/3を海外、1/3を国内、1/3を佐渡で過ごし、国境もジャンルも飛び越えた時空を出現させるべく東奔西走の日々を送る。

お問い合わせ
鼓童に関する最新情報は、ホームページでご覧いただけます。「鼓童オンラインストア」では、CD・DVDほかオリジナルグッズや楽器の販売を行っています。「鼓童の会」では、機関誌「鼓童」を毎月お送りするほか、指定された公演のチケット先行予約やオリジナルグッズの割引などの特典があります。

鼓童 KODO
http://www.kodo.or.jp Phone. 0259-86-3630(月～金、9:30-17:00) E-mail. heartbeat@kodo.or.jp